

○株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所（スタンダード市場）
公 告 の 方 法	電子公告により行う

[公告掲載 URL]
<https://www.hayashikane.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL(083)266-0210 FAX(083)266-1266

ホームページのご案内



林兼産業株式会社 Topページ
<https://www.hayashikane.co.jp/>



林兼産業株式会社 IR情報ページ
<https://www.hayashikane.co.jp/ir/>



この報告書は、FSC®認証紙と、
環境に優しい植物油インキを使用
して印刷しています。

With you

株主通信

2025年4月1日～2026年3月31日

第87期



Index

業績サマリー	01
社長から皆さまへ	02
セグメント概況	03
インフォメーション	04
トピックス	06
財務諸表（要約）	07
会社概要	09



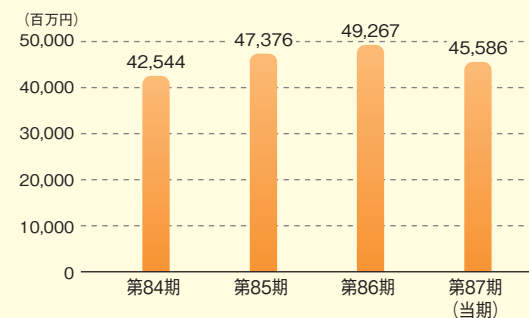
証券コード 2286

業績サマリー

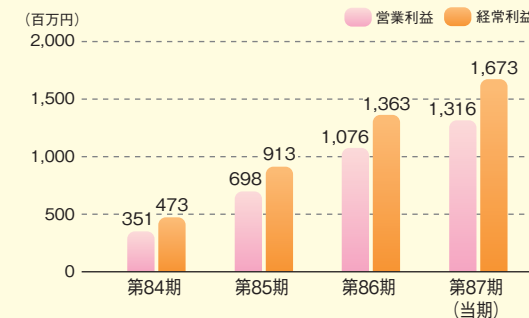
財務ハイライト

	第86期	第87期	前期比増減
連 結 売 上 高	49,267百万円	45,586百万円	△7.5%
連 結 営 業 利 益	1,076百万円	1,316百万円	22.4%
連 結 経 常 利 益	1,363百万円	1,673百万円	22.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,055百万円	1,275百万円	20.8%

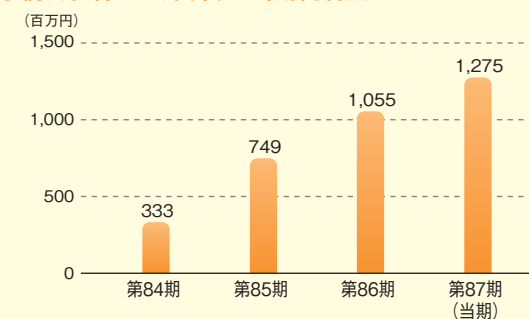
○連結売上高



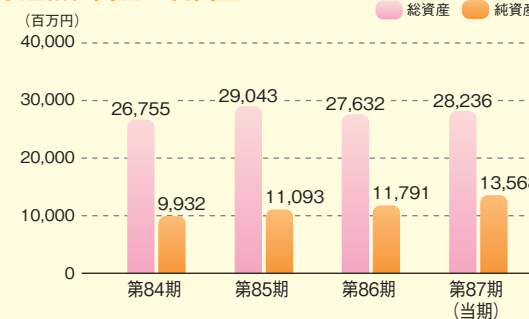
○連結営業利益 / 経常利益



○親会社株主に帰属する当期純利益



○連結総資産 / 純資産



社長から皆さまへ

株主の皆さまに第87期株主通信をお手もとにお届け申しあげるにあたりまして、日ごろのご愛顧とご支援に厚く御礼申し上げます。

当期の経営成績

当連結会計年度の売上高は、養魚用飼料の販売数量が減少したことなどにより455億86百万円(前期比7.5%減少)となりました。損益面におきましては、自社ブランド「霧島黒豚」の農場肥育成績改善などにより、営業利益は13億16百万円(前期比22.4%増加)、経常利益は16億73百万円(前期比22.7%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益は12億75百万円(前期比20.8%増加)となりました。

経営計画

当社グループは、当連結会計年度までの中期経営計画【Challenge2026】において、これまで取り組んできた事業戦略をベースに、収益構造の見直しや資本コストを意識した構造改革を実行してまいりました。その結果、利益面で当初計画値を上回る成果を達成するとともに、指標としたネットD/Eレシオ0.7以下を達成いたしました。

さらに、本年4月から、【中期経営計画Challenge2028(2027年3月期～2028年3月期)】を策定いたしました。これまでの財務健全化を踏まえ、資本コストをより強く意識した経営へ深化させ、事業ポートフォリオの「選択と集中」を通じて、「株主還元強化」「収益性(ROIC)向上」「人的資本投資強化」の3つの重点戦略を推進し、中長期的な企業価値向上につなげてまいります。あわせて、DXの推進やESGの視点を経営に取り入れ、サステナビリティ経営(SDGsの実践、カーボンニュートラル推進、動物飼養管理、エンゲージメント向上など)を進めてまいります。

今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2026年6月

取締役社長
中部 哲二

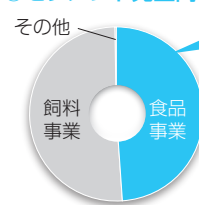


※「中期経営計画Challenge2028(2027年3月期～2028年3月期)」の詳細につきましては、当社ホームページ「中期経営計画」をご参照ください。
[<https://www.hayashikane.co.jp/ir/managementplan/>]

セグメント概況

〔食品事業〕

○セグメント売上高



224億17百万円

前期比 0.1% 増

セグメント利益 8億46百万円

前期比 82.7% 増

機能性素材は、ヒシエキスの国内向け販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

加工食品は、レトルト商品の取り扱い量を減らしたことなどにより、減収となりました。

肉類は、豚肉の販売数量が増加したことなどにより、増収となりました。

これらにより、売上高は224億17百万円(前期比0.1%増加)となりました。損益面におきましては、「霧島黒豚」の農場肥育成績改善などにより、セグメント利益(営業利益)は8億46百万円(前期比82.7%増加)となりました。



〔飼料事業〕

○セグメント売上高



231億63百万円

前期比 13.7% 減

セグメント利益 15億41百万円

前期比 7.2% 減

配合飼料は、養魚用飼料の販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

水産物は、取り扱い量が減少したことなどにより、減収となりました。

これらにより、売上高は231億63百万円(前期比13.7%減少)となりました。損益面におきましては、養魚用飼料の販売数量が減少したことにより、セグメント利益(営業利益)は15億41百万円(前期比7.2%減少)となりました。



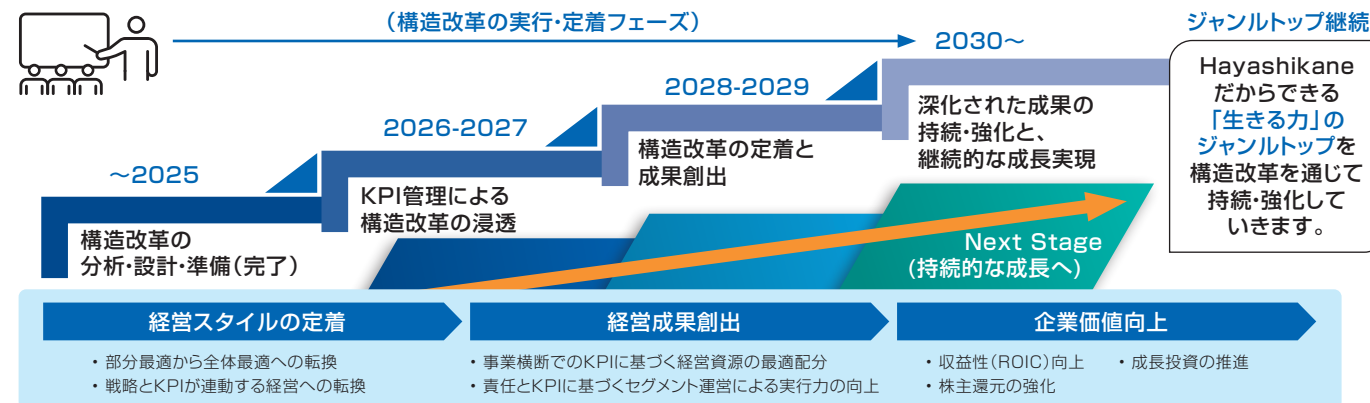
(右)桜林養鰻 宮崎事業所

インフォメーション

中期経営計画 ～Challenge2028～ (2027年3月期～2028年3月期)を新たに策定いたしました。

構造改革の実行と定着による成果創出と成長

細分化された事業セグメントごとに、機能別組織を横断的につなぎ、責任を明確化、KPI管理による運営プロセスの確立により、構造改革の成果が継続的に創出される経営の仕組みへと進化させていきます。



中期経営計画における主要経営指標

最重要成果目標

前期までの財務健全化を経て、今期からは資本コストをより強く意識した経営へとシフトし、事業ポートフォリオの「選択と集中」を加速させます。以下3つの骨太戦略を完遂することで、PBR 1.0倍の達成を目指します。

PBR 1.0倍に向けた3つの戦略

戦略① 株主還元の強化

戦略② 収益性(ROIC)向上*

・事業の選択と集中の強化:
政策保有株の売却含め、成長事業への再投資および課題事業の構造改革を加速

戦略③ 人的資本投資強化

・学び続ける組織風土の醸成
・次世代リーダーの育成
・エンゲージメント向上



資本効率・株主還元に関するKPI

ROIC

5.0%以上

(WACC:3%を安定的に上回る水準)

配当性向

30%以上を志向

EBITDA(売上高比)

6.0%(継続)

政策保有株式縮減方針

連結純資産の
20%以下

※事業の実態をより正確に把握するため、収益性指標をROAからROICに変更

霧島黒豚®は農場から食卓まで 管理された安全・安心のブランド



確かなブランド、
それが霧島黒豚®

～農場から食卓へ～

霧島山麓の大自然の中、自社グループ農場キリシマドリームファームで愛情豊かに肥育されるイギリス系パークシャー種の「霧島黒豚®」。さめ細かい肉質と良質の脂肪が特徴で、旨みと甘みのある美味しい黒豚に仕上げました。



霧島黒豚ハム・ソーセージ



霧島黒豚煮込みハンバーグ

新商品! コク深霧島黒豚入りソーセージ

当社は新商品として、あまい脂肪と旨みのある肉質が特徴の「霧島黒豚」を贅沢に30%使用したフィッシュソーセージ「コク深霧島黒豚入りソーセージ(プレーン・唐辛子)」の販売を開始しました。長年にわたる魚肉ソーセージ製造の経験と、自社ブランドである「霧島黒豚」を活かした商品です。これら商品を通じて、『日本から世界へと「食」を通じてすべての人が幸せに生きられる社会をつくる。』という当社の使命の実現に努めてまいります。



トピックス

養鰻事業 新事業所稼動

当社グループは令和6年11月、他養鰻事業者より事業譲受した養鰻場を新たに(有)桜林養鰻「宮崎事業所」として開設しました。今回はその「宮崎事業所」についてご紹介です!

「宮崎事業所」のある宮崎市佐土原町は、穏やかな気候に恵まれ、広がる田園風景や清らかな川、そして四季折々に表情を変える自然が魅力の地域です。

初年度となる令和6～7年度は、事業所新体制のもと最初の稚魚(シラスウナギ)を導入。稚魚の豊漁や天候の安定もありましたが、スタッフ一丸となって育成に努めた結果、良好な飼育成績を上げました。現在は2年度目の稚魚を導入し育成中です。



初年度の飼育成績は良好。
2年度目の稚魚を育成中。

食事風景

サントリーサンバーズ大阪のオフィシャルパートナーに!

このたび当社は、男子バレーボールチーム『サントリーサンバーズ大阪』とオフィシャルパートナー契約を締結いたしました。「PLAY HARD」をスローガンに世界へも挑み続ける姿勢に感銘を受け、オフィシャルパートナーとしてサポートさせていただきますこととなりました。



財務諸表（要約）

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産	15,325	14,880
固定資産	12,307	13,355
有形固定資産	6,877	6,961
無形固定資産	453	534
投資その他の資産	4,976	5,860
資産合計	27,632	28,236
負債の部		
流動負債	10,665	9,832
固定負債	5,175	4,835
負債合計	15,841	14,668
純資産の部		
株主資本	10,424	11,284
資本金	3,415	3,415
資本剰余金	2	3
利益剰余金	7,252	8,316
自己株式	△246	△449
その他の包括利益累計額	1,367	2,283
その他有価証券評価差額金	1,366	2,117
繰延ヘッジ損益	△2	5
退職給付に係る調整累計額	2	160
純資産合計	11,791	13,568
負債純資産合計	27,632	28,236

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (自 2024年4月 1 日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月 1 日 至 2026年3月31日)
売上高	49,267	45,586
売上原価	43,605	39,448
売上総利益	5,662	6,138
販売費及び一般管理費	4,586	4,821
営業利益	1,076	1,316
営業外収益	414	487
営業外費用	126	131
経常利益	1,363	1,673
特別利益	437	87
特別損失	139	67
税金等調整前当期純利益	1,662	1,693
法人税、住民税及び事業税	625	424
法人税等調整額	△19	△6
当期純利益	1,055	1,275
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,055	1,275

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (自 2024年4月 1 日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月 1 日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,114	714
投資活動によるキャッシュ・フロー	885	△638
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,355	△1,273
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	644	△1,194
現金及び現金同等物の期首残高	2,501	3,146
現金及び現金同等物の期末残高	3,146	1,951

連結株主資本等変動計算書(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本				その他の包括利益累計額				純資産 合計
	資 本 金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計
当 期 首 残 高	3,415	2	7,252	△246	10,424	1,366	△2	2	1,367
当 期 変 動 額									
剰 余 金 の 配 当			△211		△211				△211
親会社株主に帰属 する当期純利益			1,275		1,275				1,275
自己株式の取得				△215	△215				△215
自己株式の処分		0		11	11				11
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						751	7	157	916
当 期 変 動 額 合 計	－	0	1,064	△203	860	751	7	157	916
当 期 末 残 高	3,415	3	8,316	△449	11,284	2,117	5	160	2,283

個別貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産	15,111	14,463
固定資産	9,929	10,413
有形固定資産	4,989	5,005
無形固定資産	213	319
投資その他の資産	4,726	5,088
資産合計	25,040	24,876
負債の部		
流動負債	10,701	9,495
固定負債	3,677	3,539
負債合計	14,378	13,034
純資産の部		
株主資本	9,342	9,779
資本金	3,415	3,415
資本剰余金	－	0
利益剰余金	6,174	6,814
自己株式	△246	△449
評価・換算差額等	1,318	2,062
その他有価証券評価差額金	1,320	2,057
繰延ヘッジ損益	△2	5
純資産合計	10,661	11,841
負債純資産合計	25,040	24,876

個別損益計算書

(単位:百万円)

科目	前事業年度 (自 2024年4月 1 日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月 1 日 至 2026年3月31日)
売上高	50,048	46,297
売上原価	44,861	41,023
売上総利益	5,186	5,273
販売費及び一般管理費	4,134	4,368
営業利益	1,052	904
営業外収益	434	1,000
営業外費用	150	287
経常利益	1,336	1,617
特別利益	437	87
特別損失	1	547
税引前当期純利益	1,772	1,157
法人税、住民税及び事業税	553	341
法人税等調整額	△72	△35
当期純利益	1,291	851

会社概要

会社概要

設立年月日 1941年1月15日
資本金 3,415,020,145円
本店 山口県下関市大和町二丁目4番8号
〒750-8608 TEL(083)266-0210

沿革

1941年1月 山口県合同缶詰(株)を設立
1947年6月 山口県缶詰(株)に社名を変更
1950年10月 日新缶詰(株)に社名を変更
1952年4月 下関飼料工場を建設
1955年1月 林兼産業(株)を合併し新社名を林兼産業(株)に変更
1959年8月 下関工場を建設
1962年5月 下関飼料工場を増設
1962年5月 株式を東京証券取引所に上場
1964年12月 本社社屋および研究棟を建設
1968年5月 下関第二工場を建設
1969年4月 林兼畜産(株)を設立、養鶏・養豚事業を同社へ移管
1970年6月 都城工場を増設
1976年2月 林兼冷蔵(株)を設立
1986年11月 林兼ポートリー(株)(現 キリシマドリームファーム(株))を設立し、林兼畜産(株)の事業を同社へ移管
1988年9月 林兼冷蔵(株)第二冷凍工場を建設
1991年7月 (有)平安海産を設立
1993年3月 長府工場を建設
1996年12月 林兼フーズ(株)を設立
2006年10月 都城ウエルネスミート(株)を設立
2009年3月 (有)桜林養鰻を子会社化
2020年11月 コーポレートロゴを変更
2021年12月 太幸物産(株)を子会社化
2022年4月 東京証券取引所スタンダード市場へ移行

本社・事業所等

本社／〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL(083)266-0210
経営管理本部／〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
総務部 TEL(083)266-0210
総合企画室 TEL(083)266-0212
経理部 TEL(083)266-0214
品質保証部 TEL(083)266-0215
内部統制室／〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL(083)267-0347
事業統括本部／〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL(083)266-0221
食品事業部／〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL(083)266-0221
下関工場／〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL(083)266-0221
都城工場／〒885-0021 宮崎県都城市平江町40号1番
TEL(0986)23-1450
東京支社／〒103-0004 東京都中央区東日本橋三丁目10番14号 サンライズ橘2F
TEL(03)5640-1651
大阪支社／〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町三丁目4番7号
第一住建御堂筋本町ビル7F
TEL(06)7660-2164
飼料事業部／〒750-8517 山口県下関市東大和町二丁目10番3号
TEL(083)267-9125
下関飼料工場／〒750-8517 山口県下関市東大和町二丁目10番3号
TEL(083)267-9125
長府工場／〒752-0927 山口県下関市長府扇町13番33号
TEL(083)248-5423
アグアメディカルラボ／〒759-6316 山口県下関市豊浦町室津下字東768番地-1号
TEL(083)774-4061

役員一覧

2026年6月26日現在

取締役社長 (代表取締役) 中部哲二
専務取締役 事業統括本部長 兼飼料事業部長 三代健造
常務取締役 事業統括本部副本部長 児玉哲朗
取締役 事業統括本部長 戸倉信一
取締役 経営管理本部長 中嶋一貴
取締役 (社外・独立) 田中姿子
取締役等委員 (社外・独立) 岩村修二
取締役等委員 (社外・独立) 山尾哲之
取締役等委員 (社外) 三田村知尋
取締役等委員 (社外・常勤) 伊勢崎俊博

株式の状況

2026年3月31日現在

発行可能株式総数 20,000,000株
発行済株式の総数 8,910,000株
単元株式数 100株
株主数 5,799名
(前期末比158名減)

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人中部財団	806	9.87
Umios株式会社	565	6.93
株式会社恵比須商会	426	5.21
立花証券株式会社	398	4.87
株式会社松岡	360	4.41
中部哲二	282	3.45
日本生命保険相互会社	255	3.12
株式会社十八親和銀行	253	3.09
大和証券株式会社	183	2.24
株式会社山口銀行	157	1.92

(注) 当社は、自己株式743,759株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況

